

取組事例

（所定外労働削減）（年休取得促進）（多様な正社員）朝型の働き方・テレワーク



企業名：西部ガス株式会社	所在地：福岡県福岡市
社員数：1,735名	業種：電気・ガス・熱供給・水道業

取組の目的：

平成23年度下期から、「生産性の向上」により、「会社の業績向上」と「社員のWLB（ワーク・ライフ・バランス）の実現」を共に実現させることを目的に、「しごとRe：フォーム推進活動」を継続している。

取組の概要：

<現在の取組>

○トップメッセージ

「生産性の向上」により、社員一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、それぞれの強みを活かしながら仕事の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等に係る個人の時間を創出することにより、心身ともに健康で豊かな生活を実現することを目指していきます。

当社は、「会社の業績向上」と「WLB（ワーク・ライフ・バランス）」を共に実現することを目指す「しごとRe：フォーム推進活動」を通じ、全社員が個々人の時間意識と業務改革意欲を更に高めながら、前例にとらわれない柔軟な創造力を発揮していきます。

○業務改善

方針策定機関としての「業務効率化刷新会議」、推進機関としての「しごとRe：フォーム連絡会議」を設置し、「業務の『断・捨・離』」を合言葉に、職場の管理職とメンバーが一体となって業務改善を図っている。

「断」：不要な業務を断つ

「捨」：慣例的に行っている業務を思い切って捨てる

「離」：固定観念から離れて当たり前と思っている仕事に疑問を持つ

・具体例

<業務内容の見直しと効率化>

常識や前例にとらわれることなく、業務自体を重要度・影響度といった観点から再整理して、統廃合を実施

<会議の効率化>

「召集人員を半分に、所要時間を半分に、資料を半分に」を目指し、会議全体で1/8のスリム化を促進

○労務マネジメント

- ・ 不要不急の時間外労働の排除
- ・ No残業Day（地区毎に設定、本社近郊は毎週金曜日）の徹底
- ・ 優先順位を共有し、各人が段取り良く業務遂行するよう指導
- ・ 月次の「定例報告」による時間外労働の実績管理の徹底
- ・ 職場における有効な取組事例などの情報発信・共有

○年次有給休暇の取得促進

フレッシュアップ休暇：特別休暇1日、指定休日を2日付与し、年休と合わせて5連休（土日含めて9連休）を取得するように勧奨。

リフレッシュ休暇：保存休暇（または年休）を活用し、勤続10年刻みで、10年目は1週間、20年目以降2週間の連続休暇を取得するように勧奨。

このほかに半日単位の取得制度を導入し、利用を勧奨している。

○特別休暇制度

保存休暇：失効する年休を年5日まで、（合計50日まで）積立て、病気治療、家族の介護・看護、短期育児休暇やボランティア等に利用可能。

自己実現休暇：進学・留学等のための休暇制度で最長4年間利用可能。一部生活費扶助。

○短時間正社員制度

「しごとRe：フォーム推進活動」とは別枠であるが、育児期（未就学児扶養）には、1日の勤務時間を6時間まで短縮可能な制度を採っている。

〈今後の取組〉

○「女性活躍推進基本計画」

女性社員の能力向上による職場の活性化・生産性向上や多様な発想や価値観を持つ人材が活躍できる風土づくりのため、平成26年度策定した。

現状とこれまでの取組の効果：

○残業時間の縮減

平成23年度以前、年間の残業時間が1人平均130～150時間程度で推移していたところ、平成23年度下期から「しごとRe：フォーム推進活動」を展開した結果、平成24年度 対前年▲12%、平成25年度 対前年▲7%、平成26年度 対前年▲4%と着実に減少している。

○短時間正社員制度

平成26年12月現在、33名の女性が短時間正社員制度を利用し、育児期といえども、キャリアを中断せず活躍している。